

## 「全鍍連」 2024年 5月号 組合員の広場

新潟県鍍金工業組合

山岡 伸行 (株)大和精鍍 代表取締役)

「新潟県、よく知りませんよね」

手違いで再度執筆することとなりました。ご容赦下さい。

新潟県鍍金工業組合は、昭和 47 年に現在の組合として認可され、組合員 104 社、賛助会員 25 社でスタートしましたが、現在は組合員 36 社、賛助会員 23 社となっております。66%減なんです。全国的にも減少は続いているのでしょうが、この先大丈夫なのかなと思ったりします。工業出荷額は全国 23 位なので、成る程仕事が増えないわけだと納得する部分もあります。まあ、県として非常に地味かなと感じます。中途半端な感じで、悪名は無名に勝る

でもないですし、普通に地味は認めるしかありません。恐らくルーツが新潟県にあたり、

身内でもない限りは皆さんによく知られていないのだと思われます。そこで案外良いところもあるよと、ご紹介したいと思います。他県の人々の印象だと、「米が旨い」、「酒が美味しい」、「雪が凄い」大多数がこう思っているのかと。で、改めて調べてみると「へえ〜」と

思う物も多いのですが、やっぱり地味。まず、面積が全国 5 位ですが、海岸線距離が離島を除いても 330.8 Kmあり、全国 2 位です。日本海に面しているので縦長で山形県境から富山まで高速を使っても 3 時間掛かります。県の中央部からどの隣県に出るのにも高速で 1 時間は掛かるような歪な形をしています。それ故新幹線の駅数が 7 箇所ありこれは全国 1 位です。続いては、洋食器、石油ストーブの出荷額、米の算出額、それに伴い米菓、切り餅、梱包餅の出荷額、神社の数（宗教法人数）、清酒製造免許場数、成人一人当りの清酒消費数量も 1 位です。でも、清酒の出荷額だと 3 位になります。原油の生産量、天然ガスの生産量でも全国 1 位で一目、資源県で金がありそうですが規模がねえ…やっぱり地味ですね。面白いところで、枝豆となすの作付面積が 1 位と 2 位なのですが、全国的に有名ではないのです。これは新潟県の宣伝下手もありますが、地産地消の最たる物で枝豆はシーズンに入ると家庭では毎日ザルで一山くらいは食べていますし、なすの消費も半端ないと思います。

それと 2 位ではありますが、人口千人当りの離婚率 1.13 件なのです。男女とも忍耐強いのです。ともかく派手さが不足しており宣伝にもなりません、優しい県ですので是非一度お越しになっては如何でしょうか。